

# *Business Report* *2017*

第140期 年次報告書 (平成28年12月1日~平成29年11月30日)



HOTEL NEW GRAND

## 株主の皆様へ

To Our Shareholders



当事業年度のわが国経済は、低金利と安定した円相場を背景に、企業収益や雇用環境の改善が進み緩やかな回復基調で推移いたしました。米国政権運営の不安定化や北朝鮮情勢を巡る地政学的リスクに対する不確実性を受け、先行きは不透明な状況が続いております。

ホテル業界におきましては、長雨、台風などの天候不順などの影響もありましたが、格安航空会社の路線拡充や訪日クルーズ船寄港数の増加などを背景に、過去最高のペースで伸びている訪日客数と、円安による国内旅行需要の増加などが後押しし、堅調な状況が続きました。

こうした環境の下、昨年12月に開業90周年という節目の年を迎えた当社は、「受け継ぐ先人の思い。歴史の美学。」をコーポレートスローガンに、社員全員で新たな一歩を着実に踏み出しました。事業継承に向けた体制づくりと安定した利益確保のため、①日本におけるクラシックホテル文化の歴史と伝統の継承、②開港都市横浜の迎賓館として、地域の発展に貢献、③クラシックホテル各社と連携して、日本のクラシックホテル文化を内外に広める、の3つのビジョン（経営の基本方針）を目指すべき企業像に掲げ、中期経営計画をスタートさせました。

日本におけるクラシックホテル文化の歴史と伝統に関する諸施策といたしましては、開業90周年の謝恩企画を中心に、当社史上最高額となる特別宿泊プラン「ニューグランドづくし90」をはじめ、「復刻フルコース」「ウィスキー トディ」の販売など、新たな着想による積極的商品展開により差別化を図り、併せて、この様なイベント・プロモーションのSNSによる情報発信強化と、公式Facebook、Instagramからホームページへの誘導とデータ解析により、若年層への認知度拡大を図りました。また、組織改革として、社長直轄の組織となるCS推進室を創設して婚礼事業全般の課題を解決すべくウェディング改革プロジェクトを立ち上げ、プライダに特化した商品企画・人材育成等を主な業務とするウェディングマーケティング課を新設し、婚礼事業の強化を進めてまいりました。さらには、管理本部を新たに創設し、内部統制・コンプライアンス体制の徹底に努めるとともに、継続的な新卒採用により人材の確保育成にも取り組んでまいりました。

開港都市横浜の迎賓館としての、地域の発展への貢献に関しましては、昨年11月、当社は株式会社そごう・西武に対して第三者割当による自己株式の処分を行いました。株式会社そごう・西武は、一昨年に当ホテル本館1階に、テナント「SOGOショップ」をオープンして、当社オリジナル商品等の販売等を行っておりますが、一般のアライアンスにより両社の強みを活かし、当社ブランドのみならず「横浜ブランド」商品の共同開発・販売を行うことで、将来に

わたって共に地域の発展に貢献してまいりたく存じます。

クラシックホテル各社と連携して、日本のクラシックホテル文化を内外に広めることにつきましては、クラシックホテルの魅力と存在感を高めるとともに、周辺地域に相次いで新設されるホテル間での競争激化と、2020年の東京オリンピック・パラリンピック閉幕後の需要変動も視野に入れ、昨年11月に日本を代表する9つのクラシックホテルが連携する「日本クラシックホテルの会」を設立し、たいへん大きな反響をいただきました。今後も共同企画・販売や人材交流をすることで相乗効果を上げ、日本独自のホテルブランド向上を図り、長期的な競争優位性と顧客層の拡大に努めてまいります。

以上のような事業を展開してまいりましたが、主力事業である婚礼部門の売上減少や、給排水設備の破損による修繕更新費用の発生が影響し、当事業年度は黒字回復を果たすことができず、課題を残す年となりました。

当事業年度の売上高は50億48百万円（前事業年度比12.6%増）、営業損失は3億63百万円（前事業年度は5億97百万円の営業損失）、経常損失は3億67百万円（前事業年度は6億1百万円の経常損失）、当期純損失につきましては、ホテル事業において、「減損損失」33億84百万円の計上により特別損失が増加したことから、40億92百万円（前事業年度は9億40百万円の当期純損失）となりました。



代表取締役会長  
原 信造



代表取締役社長  
濱田 賢治



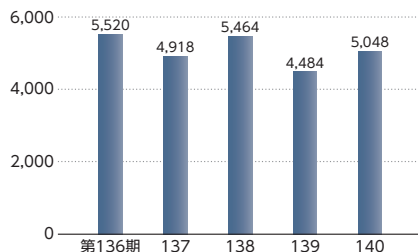
# 財務ハイライト

## Financial Highlights



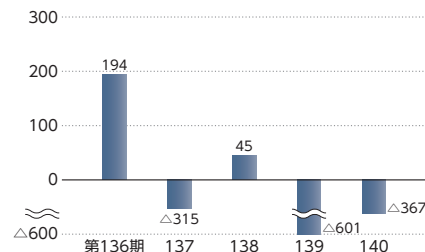
### 売上高

(単位：百万円)



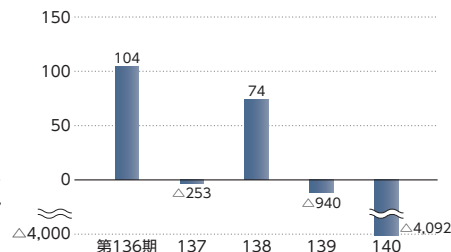
### 経常利益または経常損失

(単位：百万円)



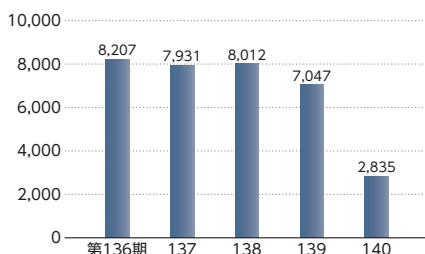
### 当期純利益または当期純損失

(単位：百万円)



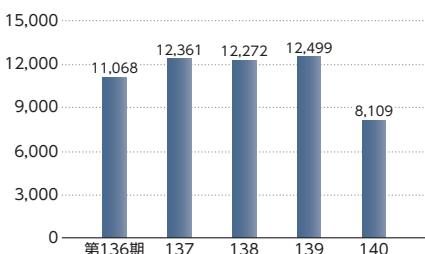
### 純資産

(単位：百万円)



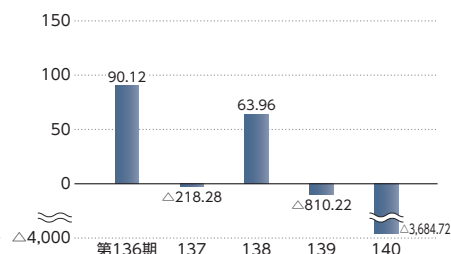
### 総資産

(単位：百万円)



### 1株当たり当期純利益または1株当たり当期純損失

(単位：円)



区分	第136期 (平成25年11月期)	第137期 (平成26年11月期)	第138期 (平成27年11月期)	第139期 (平成28年11月期)	第140期 (平成29年11月期)
売上高(百万円)	5,520	4,918	5,464	4,484	5,048
経常利益または経常損失(△)(百万円)	194	△315	45	△601	△367
当期純利益または当期純損失(△)(百万円)	104	△253	74	△940	△4,092
純資産(百万円)	8,207	7,931	8,012	7,047	2,835
総資産(百万円)	11,068	12,361	12,272	12,499	8,109
1株当たり純資産額(円)	7,067.17	6,831.83	6,902.89	6,072.26	2,548.36
1株当たり当期純利益または1株当たり当期純損失(△)(円)	90.12	△218.28	63.96	△810.22	△3,684.72
自己資本比率(%)	74.1	64.2	65.3	56.4	35.0
自己資本当期純利益率(%)	1.3	△3.1	0.9	△12.5	△82.8

(注) 第138期においては、平成27年6月1日付で、普通株式5株を1株の割合で株式併合を行っておりますが、第136期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益または1株当たり当期純損失(△)を算定しております。

# 新中期経営計画について【2018年～2020年】

(第141期)

(第143期)

## 数値見込み

### 売上高見込み

第141期 5,360百万円

第142期 5,574百万円

第143期 5,918百万円

### 営業利益見込み

第141期 3百万円

第142期 15百万円

第143期 269百万円

### 修正キャッシュ・フロー見込み

第141期 570百万円

第142期 780百万円

第143期 790百万円

※第141期及び第142期は新館全客室の大規模改装工事を予定しております。

※「修正キャッシュ・フロー」＝営業キャッシュ・フロー＋修繕費

## 基本方針

### スローガン

「受け継ぐ先人の思い。  
歴史の美学。」

### ミッション

明治の文明開化以来、西洋のホテル文化を日本において導入してきた先人たちの足跡を伝える横浜のクラシックホテルとして、歴史と伝統を継承しながら、地域の発展に貢献する。

### ビジョン (経営の基本方針)

- 日本におけるクラシックホテル文化の歴史と伝統の継承（歴史的建造物、クラシック料理など）。
- 開港都市横浜の迎賓館として、地域の発展に貢献。
- クラシックホテル各社と連携して、日本のクラシックホテル文化を内外に広める。

## 基本戦略

### 日本におけるクラシックホテル文化の歴史と伝統の継承

- 50年後、100年後を見据えた施設造りを引き続き推進（本館大規模改修＋耐震改修済証取得、新館改修工事）。
- ホテルニューグランドファンの新規開拓強化（神奈川県以外からの来訪促進やインバウンド施策を始動）。
- ニューグランド伝統の味のスペシャルメニュー化や外販商品強化。
- 開業90周年（2017年12月1日）企画の推進。

### 開港都市横浜の迎賓館として、地域の発展に貢献

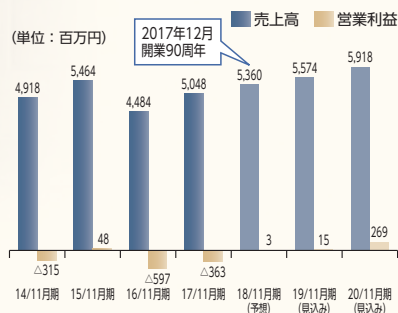
- 山下公園通り会、横浜セントラルタウンフェスティバルの運営など、地域活性化施策への積極的参加。

### クラシックホテル各社（9ホテル）と連携して、日本のクラシックホテル文化を内外に広める

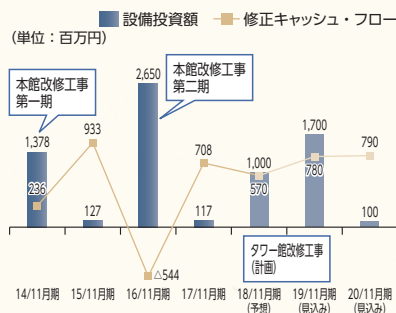
- クラシックホテル各社で「日本クラシックホテルの会」を結成し、勉強会、社員の相互交流、共同宣伝などを企画。

## 定量推移

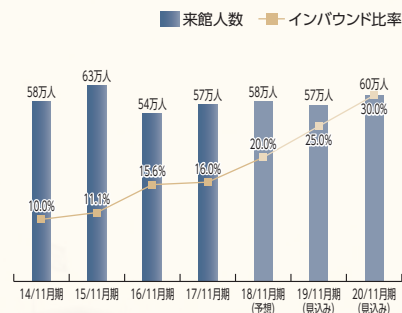
### ■売上高と営業利益の推移



### ■設備投資額と修正キャッシュ・フロー（営業キャッシュ・フロー＋修繕費）の推移



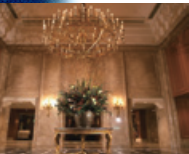
### ■来館人数とインバウンド比率の推移



### 【修正キャッシュ・フローを数値目標とする理由】

当社の本館建物は建造より90年が経過した今でも、創業当時の容姿を変えずに現在に至っております。本館建物は横浜市より「歴史的建造物」に、経済産業省より「近代化産業遺産」に認定されております。また世界中の独立系の歴史的なホテルが加盟する組織「ヒストリック・ホテルズ・ワールドワイド」が毎年選ぶベスト・ヒストリック・ホテル賞（アジア/パシフィック地域）を2016年度に受賞いたしました。

本館建物をこの先さらに50年、100年ホテルの営業施設として維持していくことが最重要な経営目標と考え、損益の状況に拘らず必要な設備投資を実施いたします。そのため「修正キャッシュ・フロー」という独自の概念を数値目標としております。



# 株式の状況 / 会社の概要

Stock Information / Corporate Data



## 株式の状況 (2017年11月30日現在)

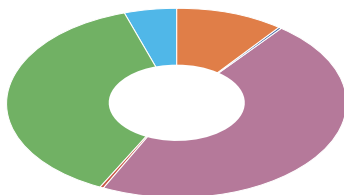
- ① 発行可能株式総数 4,600,000株
- ② 発行済株式の総数 1,171,280株
- ③ 株主数 1,077名
- ④ 大株主(上位10名) 2017年11月30日現在

株主名	持株数	持株比率
原 範行	86千株	7.74%
株式会社横浜銀行	57	5.12
清水建設株式会社	47	4.22
東日本旅客鉄道株式会社	43	3.93
野村弘光	43	3.89
株式会社そごう・西武	38	3.41
上野興産株式会社	34	3.05
麒麟麦酒株式会社	33	2.96
セコム株式会社	32	2.87
株式会社高島屋	29	2.60

- (注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 当社は、自己株式(58,421株)を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。  
 3. 原 範行氏から、平成30年1月24日付で提出された大量保有報告書(変更報告書)により、同氏保有の当社株式86,200株について、平成30年1月17日、原地所株式会社に対し譲渡を行った旨の報告がありました。上記大株主の状況は当事業年度末現在の株主名簿に基づき記載いたしております。

## ●所有者別株式分布状況

金融機関	8名	123千株	10.55%
証券会社	9名	1千株	0.14%
その他の法人	88名	545千株	46.59%
外国法人等	7名	2千株	0.20%
個人・その他	964名	439千株	37.54%
自己株式	1名	58千株	4.99%



## 会社の概況 (2017年11月30日現在)

- 設立 1926年7月6日
- 開業 1927年12月1日
- 資本金 34億5,500万円
- 主な事業内容 ホテル経営
- 従業員数 316名(内正社員外63名)

## 取締役の状況 (2018年2月22日現在)

### 1. 取締役(監査等委員以外)

- 代表取締役会長 原 信 造
- 代表取締役社長 濱 田 賢 治
- 社外取締役 上 野 孝 孝
- 取締役 宇佐神 茂 (総料理長)
- 取締役 岸 晴 記 (財務本部長)
- 社外取締役 勝 治 信
- 社外取締役 岡 崎 真 雄
- 社外取締役 波 岡 滋
- 取締役 松 尾 健 次 (管理本部長)

### 2. 取締役(監査等委員)

- 社外取締役 奥 津 勉 (監査等委員会委員長)
- 取締役 野 村 弘 光
- 社外取締役 佐々木 寛 志
- 社外取締役 清 水 三 省
- 社外取締役 渡 利 千 春



## 株主メモ／ホームページ案内

Shareholder Memo / Website Guide



### 株主メモ

- 事業年度 12月1日から11月30日まで
- 定時株主総会 毎年2月に開催
- 単元株式数 100株
- 期末配当金受領株主確定日 11月30日
- 中間配当金受領株主確定日 5月31日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関
- 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(フリーダイヤル)  
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 公告掲載URL <https://www.hotel-newgrand.co.jp>  
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告によること  
ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)
- 証券コード 9720
- 上場証券取引所 東京証券取引所 (JASDAQ市場)

#### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

#### (ご案内)

1. 平成26年以降の上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について  
平成26年1月1日以降に個人の株主様が支払いを受ける、上場株式等の配当等には、原則として20.315% (※)の源泉徴収税率が適用されます。  
(※) 所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%。  
なお、株主様によっては本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、最寄りの税務署、税理士等にお問合せください。
2. 少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて  
新規に購入された当社株式をNISA口座で所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である【株式数比例配分方式】をお選びいただく必要があります。  
ご所有の株式のうち、特別口座に登録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。  
NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問合せください。

ホームページを開設しています。どうぞご覧ください。



<https://www.hotel-newgrand.co.jp/>



<https://www.hotel-newgrand.co.jp/ir/>

当社のホームページでは、株主・投資家の皆様向けのIR情報をはじめ、最新の企業活動をお知らせするニュースリリースなど、様々な情報を提供しています。

# News



受け継ぐ先人の思い、歴史と共に、感謝を込めて。  
おかげさまでホテルニューグランドは2017年12月1日  
開業90周年を迎えました。

開業90周年記念写真集

## Memories of HOTEL NEW GRAND

時代を超えて愛され続ける横浜クラシックホテルの軌跡

クラシックホテルの歴史を紐解く一冊。  
時代の視点で捉えた珠玉の写真集が完成いたしました。  
ホテルニューグランドの各時代の表情を  
歴史的な写真で振り返ります。

クラシックホテルの歴史を紐解く一冊  
時代の視点で捉えた  
珠玉の写真集完成!!

料理と会話を楽しめば、自然と笑顔に溢れたから。  
ホテルニューグランドの歴史を、北原 朝夫  
が語っていたやわらかい時間がここに。  
写真集 監修 北原 朝夫  
北原 朝夫にゆかり、横山 剛(CRAZY KEN BAND)が  
監修した豪華なフォトブック。

### 写真集

定価 2,160円(税込)

B5判・横72頁・オールカラー

## ホテルニューグランド監修商品

2014年に始まった日本製粉(株)とのコラボレーションにより、ホテルニューグランド 第5代総料理長 宇佐神茂の監修で発売された「オーマイ伝統の味ナポリタンソース」と当ホテル発祥の「シーフードドリア」をリニューアル販売いたしました。また、ニューグランドのこだわり抜いた、昔ながらのカレーをご家庭で楽しんでいただけるよう、缶カレーをエム・シーシー食品(株)で製造、販売いたしました。これらは、ニューグランドの味を全国の皆様にご存知いただく大きな役割を担っています。



株式会社ホテル、ニューグランド

〒231-8520 神奈川県横浜市中央区山下町10番地

TEL 045-681-1841 URL <https://www.hotel-newgrand.co.jp>